

平成27年度事業報告書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

特定非営利活動法人
まちづくり機構ユマニテさが

1 事業の成果修正

平成27年度は、これまでと同じく中心市街地推進機構として発足以来当法人の基本方針としている**(1) 住む人を増やす (2) 来る人を増やす (3) まちづくりに参画する人を増やす (4) 活動の強化**、に沿って事業を実施した。

「住む人を増やす」に関して平成27年度特筆すべきは、地方創生の取組が具体的に動き出した点である。佐賀市の施策に沿って当法人も一定の役割を担うこととなった。具体的には「中心市街地まち・ひと・しごと創生事業」の中で、佐賀市内においては創業意欲の醸成やUIJターンを促す環境整備等に取り組む、佐賀市外では、特に首都圏在住の佐賀と所縁のある人に対して、佐賀との2拠点展開の推進やUIJターン希望者の掘り起し等を行った。

「来る人を増やす」については、テナント誘致とイベント開催を2つの柱に行った。

まず、テナント誘致事業については、「戦略的商機等集積支援事業」と「商業者育成事業」があるが、この内、前者は当初3件の目標に対し2件（漢方薬局、アロマセラピー教室）が中央本町と呉服元町に出店。後者は応募者が少なく8月に入店した飲食店一店舗のみの出店となった。この出店者は修了にあたり、移動販売での営業という事業計画を選択したために、中心市街地への独立開業が果たせなかった。

次に賑わいづくりイベントについては、主な取組として、「BOOK マルシェ」、「桶の杜手づくり市」等を実施した。これらに関しては着実にブラッシュアップが進み、来場者のみならず出店者の評価も向上しているが、集客数に関しては対前年比で多少の減少が見られた。内容の評価が高いだけに次年度は集客数の向上を実現したい。

施設管理に関しては、平成27年12月末に施設所有者である佐賀市の事業により656広場に無線LANを設置し、憩いの空間として整備された。当施設はイベント時は賑わいを見せるものの、催事以外の日は閑散としており、日常的な賑わいづくりが達成できていなかった。整備により“憩える場所”への基本的な設えはできたので、利用方法のアイデア出しと発信がこれからの課題である。

「まちづくりに参画する人を増やす」については、コンテナプロジェクトのスタートを起点に着実な歩みを見せており、多様な市民が新たな連携をするようになってきた。

佐賀大学や西九州大学の活動も「地（知）の拠点事業」を軸に進展しているが、まだ本格的な動きにはいたっていない。西九州大学の街なか活動拠点として支援してい

る「ぶらっ〜と249」の活用については抜本的な対策が必要である。

「活動の強化」については、ユマニテ会員企業との連携強化や収益事業の立ち上げなどを挙げていたが、ほとんど進捗しておらず猛省しなければならない。

今後の重点課題は、街づくりの担い手の発掘、育成の強化である。これまで以上に市民や市民活動団体とのコミュニケーションを活発にし、新たなプレイヤーの出現を実現していかなければならない。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

- ① 中心市街地の活性化に関する普及・啓発事業
- ② 中心市街地の整備改善に資する建築物等の施設の整備及び管理事業
- ③ 良好な市街地を形成するためのまちづくりに関する事業
- ④ 中心市街地の整備改善に関する調査研究事業
- ⑤ 中心市街地の歴史、伝統、文化、芸能、芸術及び名物の保存・育成を図るための事業
- ⑥ 中心市街地の環境整備及び環境保全に関する事業
- ⑦ 中心市街地公共空地の管理事業
- ⑧ 中心市街地住民の生活の安全と利便性を確保する事業
- ⑨ 中心市街地の整備改善を図るために有効な土地の取得、管理及び譲渡事業
- ⑩ 中心市街地の商業の充実を図るために事業
- ⑪ 中心市街地の整備改善に関する事業を行う者に対する情報の提供、相談又は援助事業
- ⑫ その他第3条の目的に達成するために必要な事業

その他の事業

- ① 駐車場業
- ② 不動産仲介業

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 実施日時 (B) 実施場所 (C) 従事者数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (千円)
① 中心市街地の活性化に関する普及・啓発事業	街なかかわらばん発行事業 年に6回隔月に発行。市民ライターを起用し、新しい切り口で街なか情報や人の動き、物件情報等を広く知らしめることにより、中心市街地に対する市民の関心を醸成し、街なかへの来訪を促した。発行部数は10,000。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 2人	(D) 中心市街地に関わる者 (E) 不特定多数	2,303

	ホームページ運営事業 昨年に引き続き、ホームページ上のフェイスブック表示に対し、細かなフォローを実施した。また、街なかかわら版との連携を強化し、アクセス数の向上に努めた。	(A) 通年 (B) 当法人事務所 (C) 2人	(D) 全国のインターネット利用者 (E) 不特定多数	413
	電波媒体による情報発信 ぶんぶんTVの「街なか情報」やFM佐賀に数多く出演し、主にイベントの告知を中心にした広報活動を行った。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 2人	(D) 佐賀市。コミュニティFMは旧市街地・小城地区 (E) 不特定多数	299
	地域再生人材育成セミナー 地域の活性化を担う人材の発掘と育成を2回に分けて実施した。	(A) 平成27年9月26日・27日 平成28年2月17日 (B) 佐賀商工ビル、マチノシコトハ COTOCO215、中心市街地 (C) 3人	(D) 佐賀県内を中心にまちづくりに興味関心のある方々 (E) 不特定多数	1,435
	①中心市街地の活性化に関する普及・啓発事業 (事業費合計)			4,452
②中心市街地の整備改善に資する建築物等の施設の整備及び管理事業	街なか居住等事業 佐賀大学都市工学系学生6名が居住するシェアハウスの管理事業を継続して行った。また同じ建物1階店頭部分の街づくり拠点施設さが恵比須ステーションを管理。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 1人	(D) 来街者 (E) 不特定多数	3,340
(事業費合計) 23,160	わいわい!!コンテナ2管理運営事業 本年度は「わいわい!!コンテナ2」を市民の憩いの場として活用することに加えて、市民の活動拠点施設としての充実を図った。	(A) 平成27年4月～平成28年3月 (B) 呉服元町 (C) 3人	(D) コンテナ来場者 (E) 約64,000人	11,983
	まちなか交流広場管理事業 街なか交流広場(656広場)の指定管理者として施設を管理し、イベント開催等活動促進を図った。また、利用促進のためにWiFiを設置する等“街なかお外リビング”として改修した。	(A) 通年 (B) 呉服元町 (C) 4人	(D) 広場の利用者及び観客 (E) 不特定多数	2,757

	地（知）の拠点事業 西九州大学による地（知）の拠点事業を効果的に実施するための拠点を設置し、地域貢献の取組施設として活用することを継続して支援した。	(A) 通年 (B) 呉服元町 (C) 1人	(D) 市民 (E) 不特定多数	1,923
	佐賀商工ビル管理事業 佐賀商工ビルの運営管理をユマニテさがスタッフが一部担うことにより、街づくりの連携強化を図った。	(A) 通年 (B) 白山二丁目 (C) 1人	(D) 市民 (E) 不特定多数	3,189
	②中心市街地の整備改善に資する建築物等の施設の整備及び管理事業			23,193
③良好な市街地を形成するためのまちづくりに関する事業	共通駐車サービス券事業 中心市街地の加盟駐車場で利用できる共通駐車券を活用して、商店街、個店、事務所へのアクセスを容易にし、利便性を高める事業を継続して行った。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 2人	(D) 共通駐車券を利用する店舗、事業所等、及び加盟駐車場の顧客 (E) 店舗事業所の顧客	4,694
	③良好な市街地を形成するためのまちづくりに関する事業			4,694
④中心市街地の整備改善に関する調査研究事業	不動産調査・管理事業 地方創生事業の一環として、佐賀での事業展開を検討している企業やUIJターン希望者に適切な対応ができるように、活用可能な空きオフィス、空きビル、事業所建設適地、等について、物件調査を実施した。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 2人	(D) 佐賀での事業展開を検討している企業及びUIJ希望者 (E) 不特定多数	4,106
	④中心市街地の整備改善に関する調査研究事業			4,106
⑤中心市街地の歴史、伝統、文化、芸能、芸術及び名物の保存・育成を図るための事業	バルーンフェスタサテライトイベント インターナショナル・バルーンフェスタの開催に合わせて、656広場を中心にイベントを実施する他、市街地の各エリアを各団体が分担して飾り付けをする事業。	(A) 平成27年10月30日～平成27年11月3日 (B) 中心市街地 (C) 6名	(D) 来街者 (E) 不特定多数	8,416
	BOOK マルシェ佐賀2015事業 本を媒介にした人と人の出会い、本の楽しさ面白さを発見することによる文化の底上げを図った。	(A) 10月3日、4日 (B) 呉服元町 (C) 3人	(D) 出店者・来店者 (E) 不特定多数	1,306

	ほとめきぶらり旅事業 少人数による街なか再発見の旅プランを2コース各2回、延べ4回実施した。	(A) 平成28年3月12日 (B) 中心市街地内 (C) 2人	(D) 県内外の応募者 (E) 30人	271
	佐賀北高書道部揮毫会 中心市街地の女将さんで組織する「えびすめ会」との協働事業。全国書道コンクール20連覇の佐賀北高書道部のメンバーが、市民のリクエストを受けて揮毫するコミュニケーションイベントを実施。	(A) 5月16日 (B) 呉服元町 (C) 2人	(D) 北高書道部及び観客 (E) 約200人	187
	佐賀城下ひなまつり賑わいづくりイベント 期間が延長され、50日間の開催となった。「ローカルフードフェスタ」「街なかコンサート」「和楽器・サクソ演奏」「バルーン球皮内体験」「街なか動物園」「親マルシェ子マルシェ」の6イベントを開催した。	(A) 平成28年2月11日～3月31日 (B) 呉服元町、白山 (C) 2人	(D) 来訪者 (E) 54,026人	1,847
	⑤中心市街地の歴史伝統、文化、芸能、芸術及び名物の保存・育成を図るための事業			12,029
⑥中心市街地の環境整備及び環境保全に関する事業	未実施			
	⑥中心市街地の環境整備及び環境保全に関する事業			0
⑦中心市街地公共空地等の管理事業	唐人町緑道管理事業 緑地の清掃管理を行い、地域住民及び来場者に憩いの空間を提供した	(A) 通年 (B) 唐人二丁目 (C) 3人	(D) 地域住民及び緑道利用者 (E) 不特定多数	995
	街なか緑地広場管理業務 旧コンテナ1撤去後の広場の施設管理とイベント企画を担当している。	(A) 通年 (B) 松原二丁目 (C) 1人	(D) 地域住民及び緑地利用者 (E) 不特定多数	643
	⑦中心市街地公共空地等の管理事業			1,639
⑧中心市街地住民の生活の安全と利便性を確保する事業	未実施			
	⑧中心市街地住民の生活の安全と利便性を確保する事業			0

⑨中心市街地の整備改善を図るために有効な土地の取得、管理及譲渡事業	未実施			
	⑨中心市街地の整備改善を図るために有効な土地の取得、管理及譲渡事業			0
⑩中心市街地の商業の充実を図るための事業	さが桜マラソンランナーズナイト さが桜マラソンの出走者をもてなすイベント。千葉真子さんをゲストに招いてのトークショーや佐賀の特産品が当たるお楽しみ抽選会を開催し、フードコーナーも設置した。	(A) 平成 27 年 4 月 4 日 (B) 呉服元町 (C) 2 人	(D) さが桜マラソン出走者及び地域住民 (E) 不特定多数	1,460
	種まきマルシェ 種まきマルシェ実行委員会主催のイベントで、ハンドメイド雑貨を展示・販売するイベントが行われた。	(A) 平成 27 年 5 月 3 日 (B) 呉服元町 (C) 1 人	(D) 地域住民及び来街者 (E) 不特定多数	50
	エスプラッツ誕生祭 佐賀青年会議所とタイアップして実施。佐賀商工ビル南側ではニュースポーツのデモンストレーションを実施した。エスプラッツ南側道路では佐賀新聞文化センターのサークルによる発表やおへそ保育園の空手演武、その他ビンゴ大会等を実施。	(A) 8 月 1 日、2 日 (B) エスプラッツ、白山 (C) 5 人	(D) 祭参加者、観客、観衆 (E) 不特定多数	1,254
	さが街なか図書館 市街地の専門店 16 事業所に対して、当店の専門書をベースにしたミニ図書館を開設。本年度は参加店のミニイベントを実施することで活性化を図った。	(A)平成 27 年 6 月 2 日～平成 28 年 3 月 31 日 (B)中心市街地全域 (C)2 人	(D)来街者 (E)不特定多数	637
	第 9 回桶の杜手づくり市事業 全国の手づくり作家を迎えての手づくりアートフェスタ。第 9 回を迎え、市民にも出店者にも人気イベントとして定着してきた。	(A) 平成 28 年 3 月 19 日、20 日 (B) 八幡神社 (C) 7 人	(D) 県内外から出店の 80 店、及び来店者 (E)約 3,000 人	1,798

	<p>公募型空き店舗対策事業 年間を通して出店者を募集し、審査を行い、合格者に対して一部改装費補助を行った。</p>	<p>(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 2人</p>	<p>(D) 中心市街地で出店を希望する者 (E) 不特定多数(審査の結果出店に至った者2店舗)</p>	5,858
	<p>商業者育成事業 独立開業を志す起業家に、1年間の実施トレーニングを施し、本格出店の後押しをする事業。2店舗が出店した。</p>	<p>(A) 通年 (B) 唐人一丁目 (C) 3人</p>	<p>(D) 県内外の新規起業を志す未経験又は経験の浅い商業者 (E) 出店者1店舗</p>	6,512
	<p>玉屋わくわくランド 「キッズフェスティバル」と題して、南館の各フロアにて電車教室や手作り教室、紙飛行機教室、ファミリーダンス教室等を実施し、街なかの賑わいを創出した。</p>	<p>(A) 5月2日～5日 (B) 佐賀玉屋、わいわい!!コンテナ2 (C) 3人</p>	<p>(D) 市民 (E) 17,880人</p>	337
	<p>商店街魅力づくり事業 佐賀大学の地域貢献施設「ゆつつら～と館」の運営管理を支援することで、佐賀大学の街なか拠点として利用されたことにより、商店街の活性化につなげた。</p>	<p>(A) 通年 (B) ゆつつら～と館 (C) 1人</p>	<p>(D) 市民 (E) 9,347人</p>	1,457
	<p>佐賀市街なかバル事業 中心市街地の飲食店の食べ歩き・飲み歩きイベント。街なかの店を多くの人に知ってもらい、最終的に活性化に結びつけること。また、イベント会場を複数店舗とすることで、経営者の意識改革を図り、回遊性を向上させることを目的に実施した。</p>	<p>(A) 平成27年10月30日～11月3日 (B) 中心市街地内 (C) 6人</p>	<p>(D) 市民 (E) 1,200人</p>	988
	<p>キッズダンスコンテスト 通算3回目となるダンスイベント。ダンス愛好の若者の発表の場を設けることで健全育成と来街者の増加を図った。</p>	<p>(A) 平成28年3月19日 (B) 呉服元町 (C) 2人</p>	<p>(D) 出場者及び観客 (E) 1,130人</p>	290
	<p>わくわくクーポン券事業 毎年嘉瀬川河川敷で開催される熱気球大会に車で来場する方を、佐賀市の中心部に誘導する手法としてクーポン券を渡し、市街地で買い物をしてもらい、中心部の商業の活性化を図る。</p>	<p>(A) 11月～12月 (B) 中心市街地内 (C) 2人</p>	<p>(D) 車で会場を訪れる気球大会の観客及びクーポン券利用店舗 (E) 約1,000人(販売枚数より推定)</p>	1,395

	銀天夜市協賛事業 第 50 回となる中心商店街の夏の夜の風物詩となっている銀天夜市を、地元商店と共催でカラオケ大会等を実施し、賑わいづくりを支援した。	(A) 平成 27 年 7 月 4 日～8 月 1 日の全土曜日 (B) 呉服元町、白山 (C) 2 人	(D) 市民 (E) 出場者及び観客 約 1,800 人	463
	ビアパーティ 第 7 回街なかバルと合体させ、バル最終日に開催した。チケットをバルと共通とし、回遊性向上を図った。	(A) 平成 27 年 7 月 8 日 (B) 呉服元町 (C) 3 人 (A) 平成 27 年 9 月 16 日	(D) 市民 (E) 出場者及び観客 約 1,800 人 (D) 市民及び協賛店舗	60
	えびすビアパーティー 佐賀の恵比須像とえびすビールを関連付けて、市民の関心を中心市街地へ向けさせること、及び参加者同士のコミュニケーションの活発化を図った。	(B) 呉服元町 (C) 6 人	(E) 参加者 400 人	755
	イベント事務費	(A) 平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日 (B) 中心市街地		986
	⑩中心市街地の商業の充実を図るための事業			24,308
⑪中心市街地の整備改善に関する事業を行う者に対する情報の提供、相談又は援助事業	入店誘導促進事業 集客力のある事業所に転貸を行い、中心市街地の賑わいづくりを図った。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 2 人	(D) 中心市街地に出店を考える商業者 (E) 転貸者 2 件	1,762
	まち・ひと・しごと事業 佐賀県が進める「地方創生事業」の一環として「デジタル・ハリウッド」の誘致に際し、物件の検討からオーナーとの交渉、改装まで一定の役割を果たした。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 2 人	(D) 中心市街地に出店を考える商業者 (E) IT 技術を習得したい不特定多数	4,673
	古賀ビル管理事業 佐賀県が進める「地方創生事業」の一環として「デジタル・ハリウッド」がオープンした。当法人はオーナーから物件を借り、転貸を実施した。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 2 人	(D) 中心市街地に出店を考える商業者及び建物所有者 (E) IT 技術を習得したい不特定多数	673

	中心市街地まち・ひと・しごと創生事業 少子高齢化の進展に的確に対応し、人口減少に歯止めをかけるとともに、住みよい環境を確保して将来にわたって活力ある中心市街地にしていく目的で本年度実施した。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 1人	(D) 中心市街地に出店を考える起業家、商業者、市民活動団体及び個人 (E) 不特定多数	8,405
	⑪中心市街地の整備改善に関する事業を行う者に対する情報の提供、相談又は援助事業			15,514
⑫その他第3条の目的を達成するために必要な事業	のまん伍太事業 飲料水の街づくり支援自動販売機を8台設置し、来街者の利便性向上を図った。本年度は街なか緑地、えびす駐車場、佐賀商工ビルに新設した。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 2人	(D) 市民 (E) 不特定多数の購買者	435
	本部会計事務費			198
	⑫その他第3条の目的を達成するために必要な事業			633

(2) その他の事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 実施日時 (B) 実施場所 (C) 従事者数	支出額 (千円)
① 駐車場業	えびす駐車場事業 駐車場を経営し、来街者の利便性、快適性を高め、サービスの向上を図るとともに、得られた収益を特定非営利活動費に充当する	(A) 通年 (B) 松原一丁目・ (C) 2人	21,751
	佐野駐車場事業 駐車場を経営し、来街者の利便性、快適性を高め、サービスの向上を図るとともに、得られた収益を特定非営利活動費に充当する	(A) 通年 (B) 松原二丁目 (C) 1人	536
	①駐車場業		
② 不動産仲介事業	未実施		0